

滋賀県圏域分割図



甲賀・湖南圏域 河川整備計画 (変更素案) 説明会

【日時】 令和4年12月11日(日) 15:00~16:30

【場所】 草津市立市民交流プラザ大会議室



目次

1. 河川整備計画について
2. 現行の甲賀・湖南圏域河川整備計画について
(整備を実施する河川及び区間)
3. 甲賀・湖南圏域河川整備計画の変更について
4. 河川整備計画変更対象河川の変更内容について
5. 今後の流れについて



1. 河川整備計画について



1.1 河川法の変遷

① 河川法の変遷

1896年(明治29年)

近代河川制度
の誕生



1964年(昭和39年)

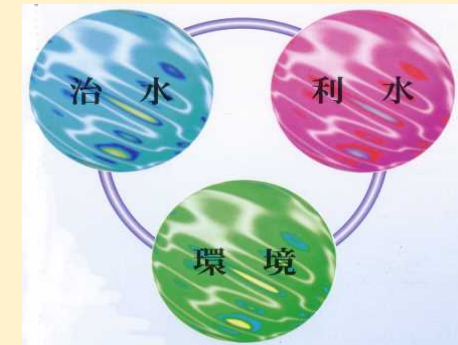
治水・利水の体系的な
制度の整備

- ・水系一括管理制度の導入
- ・利水関係規定の整備



1997年(平成9年)

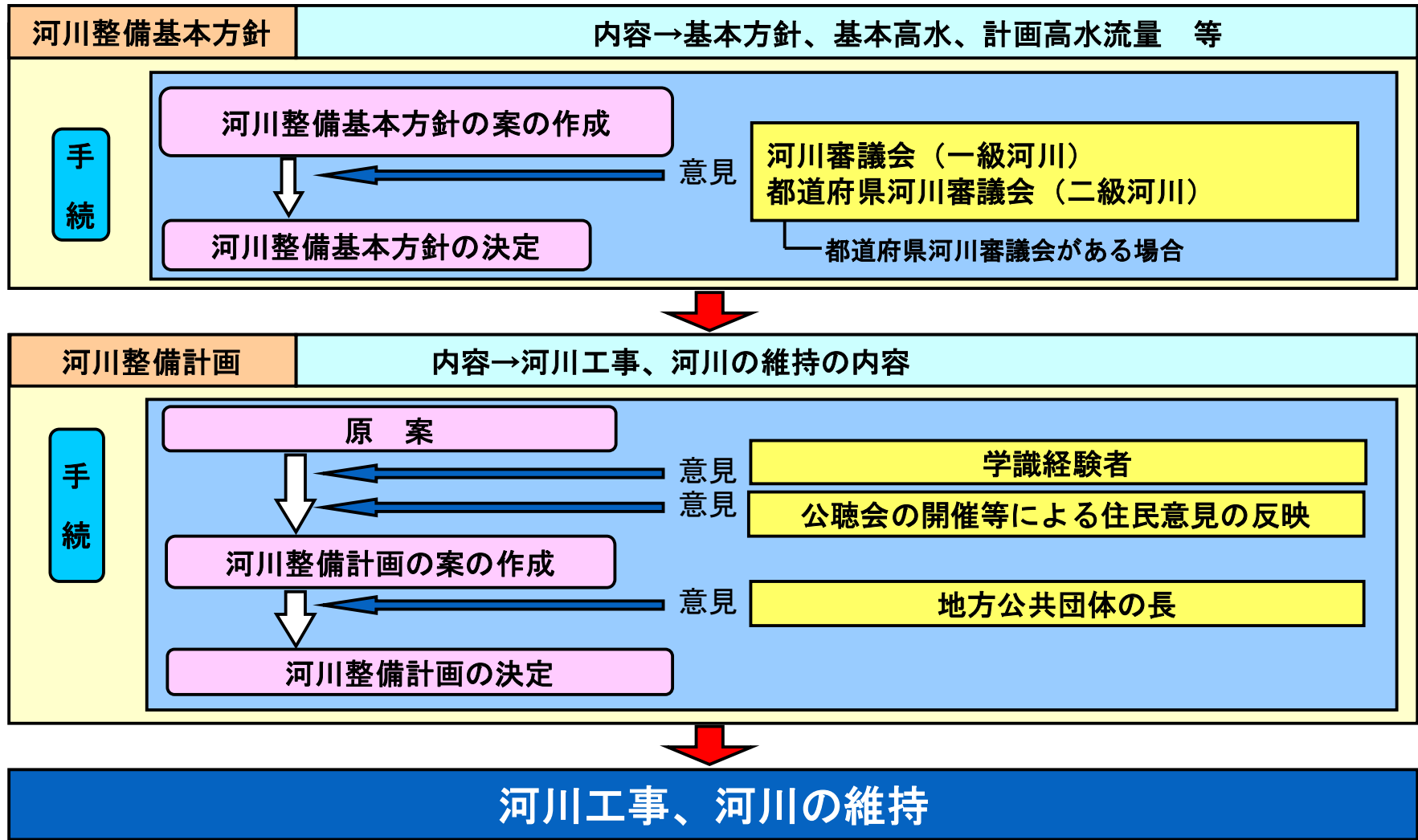
治水・利水・環境の
総合的な河川制度の整備





1.1 河川法の変遷

② 現行の河川法の構成





1.2 河川整備計画

滋賀県では、琵琶湖(及び瀬田川)に流入する主要な河川の流域により圏域を分割し、河川整備計画を策定しています。

甲賀・湖南圏域河川整備計画は、平成22年11月5日付けで国土交通大臣から認可を受けていました。
その後、関係機関や流域住民との協議により河川整備を実施する区間が追加となりました。
それに伴い、平成26年12月11日付けで変更認可を受けました。





1.3 甲賀・湖南圏域の一級河川



当圏域内には、132の一級河川があり、そのうち野洲川(指定区間)、杣川、家棟川〔湖南市〕、由良谷川、落合川、家棟川〔野洲市〕、童子川、山賀川(新守山川)、葉山川(支川中ノ井川を含む)、草津川、金勝川、北川、狼川を計画的に河川の整備を図る河川として選定しています。



1.3 甲賀・湖南圏域の一級河川

〈計画的に整備を行う河川〉

H20 中長期整備実施河川の検討(事業着手河川の優先度ランク付け)

逼迫した財政状況の中で、効率的・効果的に事業を実施するために、
優先的に事業展開する河川を選定し、ランク付け

計画的に河川の整備を図る区間として、“整備実施区間”、“調査検討区間”、“整備時期検討区間”を設定し、整備を推進します。なお、これらの区間は、優先的に整備する河川のランク付け(滋賀県中長期整備実施河川の検討)の結果を踏まえて設定しています。

Aランク河川に位置づけ(緊急性の観点から整備実施を必要とする河川)

野洲川(指定区間)、家棟川〔湖南市〕、由良谷川、落合川、山賀川(新守山川)、
葉山川(支川中ノ井川を含む)、草津川、金勝川、北川、狼川

Bランク河川に位置づけ(緊急性の観点からはAランクの次に整備実施を必要とする河川)

杣川、家棟川〔野洲市〕、童子川



1.4 計画変更の主旨

甲賀・湖南圏域については、平成22年11月に当初計画、平成26年12月に変更計画を策定し、事業の進捗を図ってきました。

今般、計画の熟度が高まり整備内容が定まった河川や事業進捗が図られた河川について、整備進捗を図ることを目的に整備計画を変更します。



1.5 今回説明会の位置付け

① 変更対象河川の調査検討

② 河川整備計画(変更素案)の策定

意見

関係する地域住民への説明

今回

③河川整備計画(変更原案)の策定

意見

関係する地域住民への縦覧

地域住民の意見:河川法第16条の二4

意見

淡海の川づくり検討委員会

学識経験者の意見:河川法第16条の二3

④河川整備計画(変更案)の策定

意見

関係市町の意見聴取

関係市町長の意見:河川法第16条の二5

⑤国土交通省(近畿地方整備局)へ申請

国土交通省(近畿地方整備局)の認可

⑥河川整備計画(変更)の策定



2. 現行の甲賀・湖南圏域 河川整備計画について (整備を実施する河川及び区間)



【参考】整備目標(計画規模)の設定について

滋賀県河川の目標安全水準(1/2)

Aランク河川

区間管内	河川名	概ねの流域面積(km ²)	整備済み区間又は目標とする流下能力を有する一連区間の概要	今後整備を検討する概ねの区間				
				起点	終点	延長の目安(km)	概ねの現況安全度	当面の整備目標
甲賀・南部	家棟川(由良谷川)	3.8	無	湖南市針、夏見	湖南市夏見(旧東海道付近)	0.4	1/3	1/50(放水路)
	落合川	8.1	無	湖南市石部	湖南市柑子袋	2.2	1/3	約1/10
	野洲川	382.4	河口から概ね14.0km(石部頭首工)	湖南市菩提寺	甲賀市水口町宇田	11.0	1/10	戦後最大相当
	北川	2.1	草津川合流より概ね1.5km	草津市野路町(琵琶湖線交差付近)	草津市野路町(国道1号交差付近)	0.3	1/3	約1/10
	金勝川	21.3	草津川合流から概ね0.2km	栗東市目川	栗東市下戸山	1.5	1/5	約1/10
	葉山川	22.0	河口から概ね6.6km	栗東市坊袋(国道1号・新幹線交差付近)	栗東市上鉤	1.8	1/3	約1/10
	山賀川(新守山川)	9.3	河口から概ね2.8km	守山市三宅町	守山市大門町	0.5	1/3	約1/10
	狼川	5.4	河口から概ね2.7km	草津市南笠町	草津市野路東	1.8	1/3	約1/10
	草津川	36.7	河口から概ね5.6km	草津市青地町	大津市上田上桐生町	5.7	1/5	約1/10
	中ノ井川	12.7	葉山川合流から概ね0.9km	栗東市下鉤	栗東市大橋	2.4	1/2	約1/10

出典)H20 中長期整備実施河川の検討



【参考】整備目標(計画規模)の設定について

滋賀県河川の目標安全水準(2/2)

Bランク河川

区 間 管 内	河川名		概ねの 流域面積 (km ²)	整備済み区間又は 目標とする流下能力を 有する一連区間の概要	今後整備を検討する概ねの区間				
					起点	終点	延長の 目安(km)	概ねの 現況安全度	当面の 整備目標
甲 賀 ・ 南 部	家棟川 童子川	家棟川	26.1	河口から概ね7.8km	野洲市上屋、小堤	野洲市上屋、小堤	0.1	1/5	約1/10
		童子川		家棟川合流からから 概ね3.0km	野洲市比江、五ノ里	野洲市比江、五ノ里	0.1	1/3	約1/10
	杣川		382.4	野洲川合流からから 概ね7.8km	甲賀市甲南町寺庄、 野尻(千丈寺井堰)	甲賀市甲南町寺庄、 野尻	1.0	1/10	約1/10

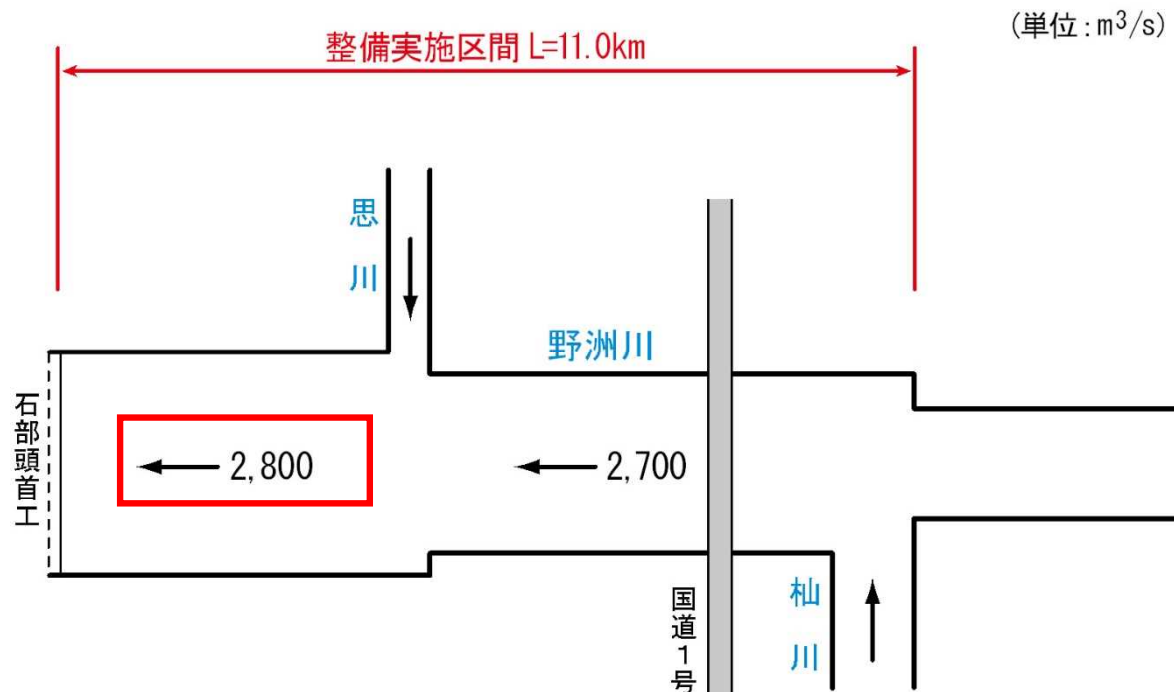
出典)H20 中長期整備実施河川の検討

- 滋賀県では、河川整備において目標とする安全水準について、流域面積や氾濫想定区域内の人口・資産等を指標にして検討を行い、上表の通り河川ごとの計画規模を定めている。



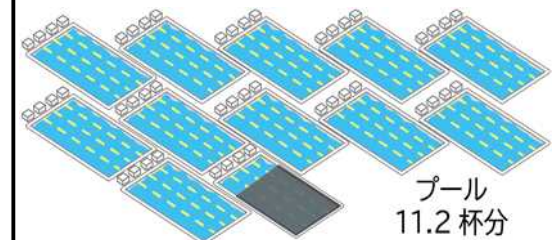
【参考】流量について

野洲川の計画流量配分図



2,800 m^3/s とは…

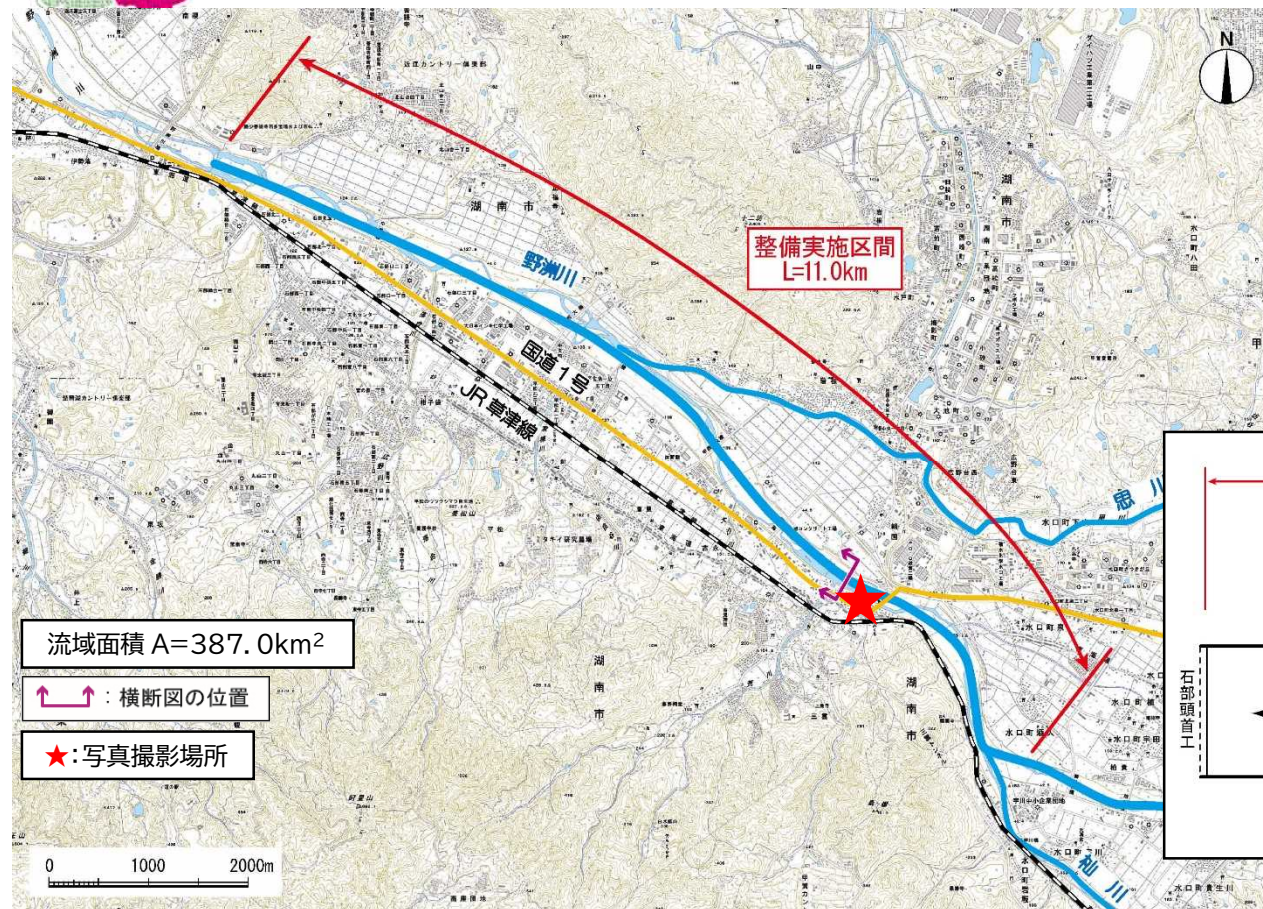
小学校の25mプールに貯めることができる水の量は、約250 m^3 ですので、2,800 m^3 は、25mプール11.2杯分の水の量相当します。



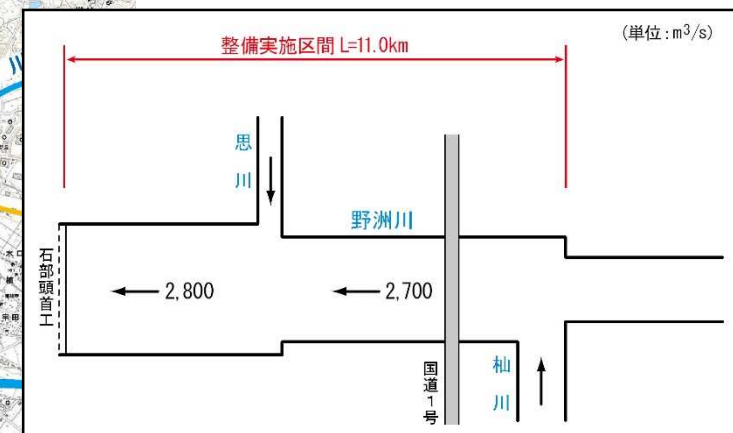
- 上の図に示す計画流量配分図は、石部頭首工上流部で2,800 m^3/s の水を流すことを目標にしていることを示しています。
- 2,800 m^3/s とは、1秒間に流れる水の量が2,800 m^3 という意味です。



2.1 野洲川(指定区間)



朝国横断歩道橋より下流を望む



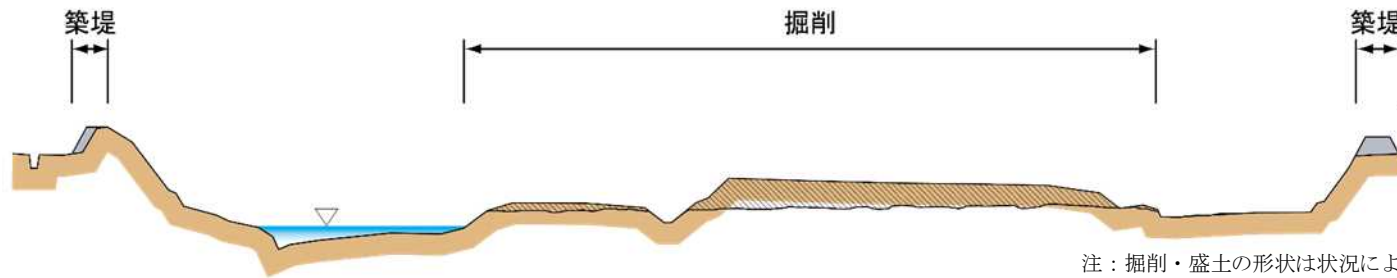
野洲川の計画流量配分図

- 戦後の洪水で最大の流量となる昭和28年9月25日洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 計画高水流量は、石部頭首工地点において $2,800\text{m}^3/\text{s}$ とします。



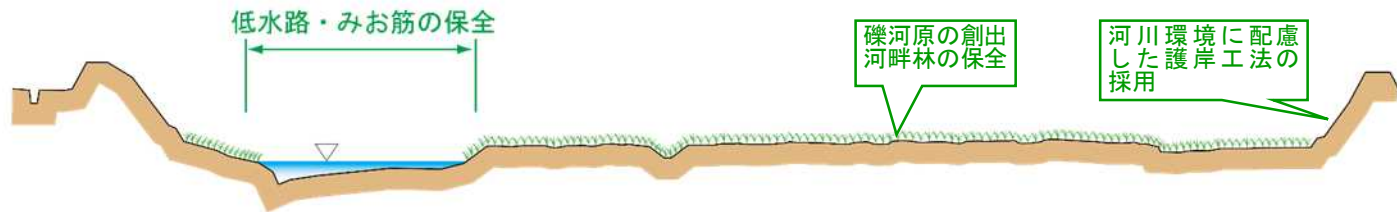
2.1 野洲川(指定区間)

横田橋下流(河口から約21.6km)
[改修前]



注：掘削・盛土の形状は状況により変更することがあります。
注：上下流のバランスを考慮しながら、土砂除去等による段階的な整備により流下能力の向上を図ります。

[改修後]



野洲川横断図



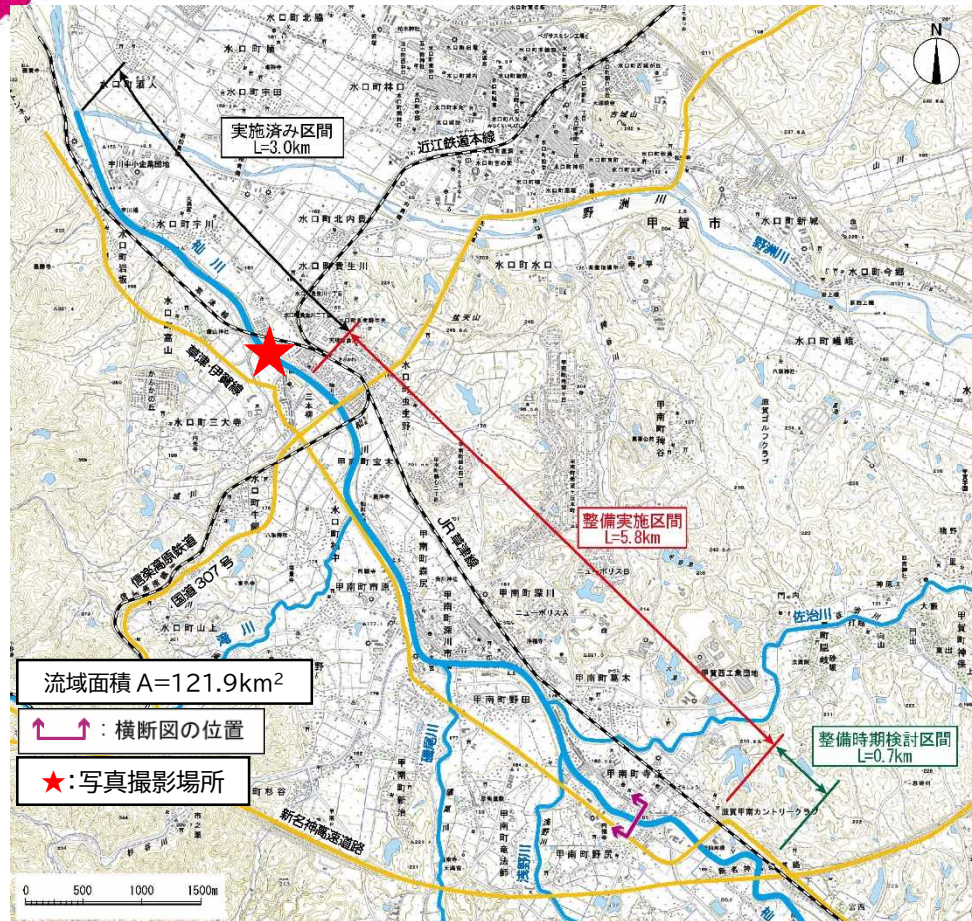
タコノアシ

写真出典：植物図鑑HP 16

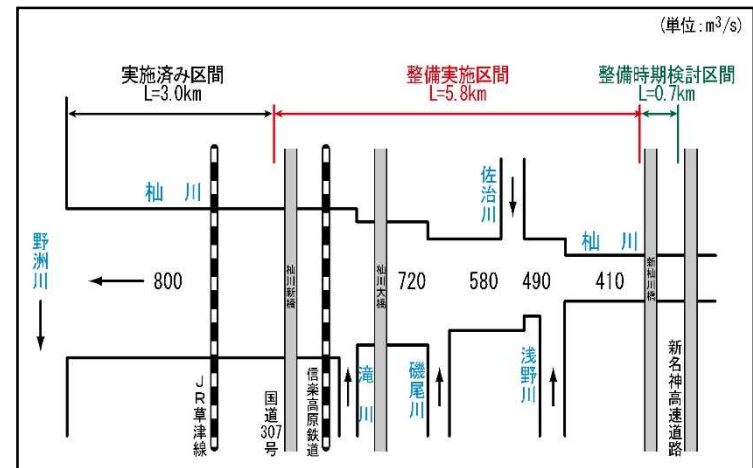
- ▶ 流下能力の小さい箇所から順次、河床の堆積土砂や樹木の除去により河積の拡大を行い治水安全度の向上を図ります。
- ▶ 野洲川を代表するタコノアシやカワラハハコ等の水辺の植物が生育できるような多様な流れを有する環境を保全・再生します。



2.2 杣川



鉄道橋付近より下流を望む



杣川の計画流量配分図

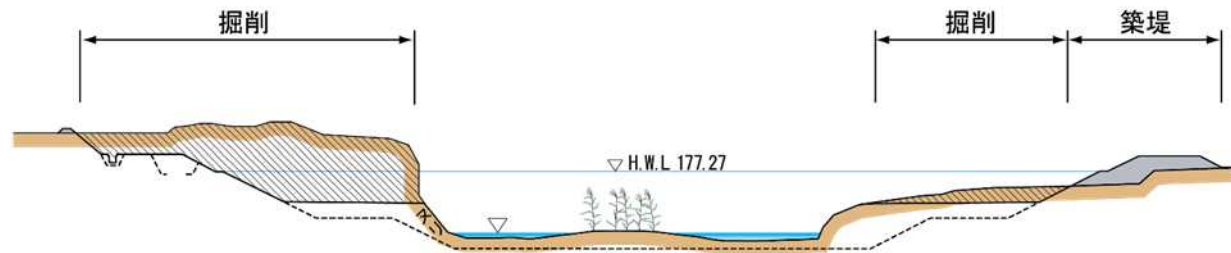
- 10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 計画高水流量は浅野川合流点において410m³/sとします。



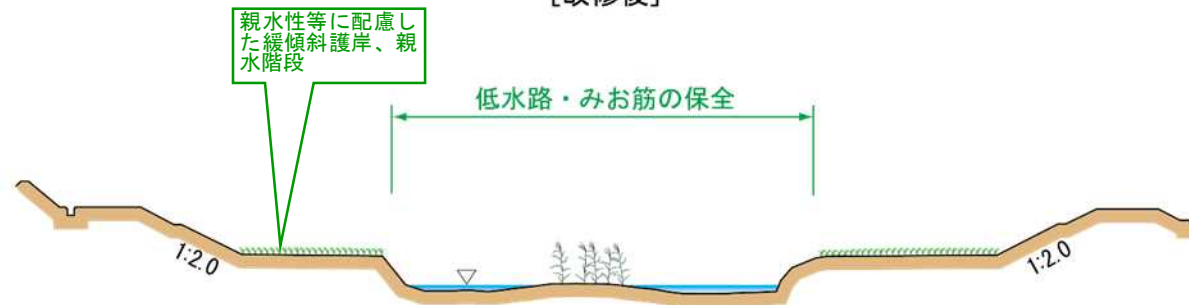
2.2 杣川

千歳橋下流(野洲川合流点から約8.2km)

[改修前]



[改修後]



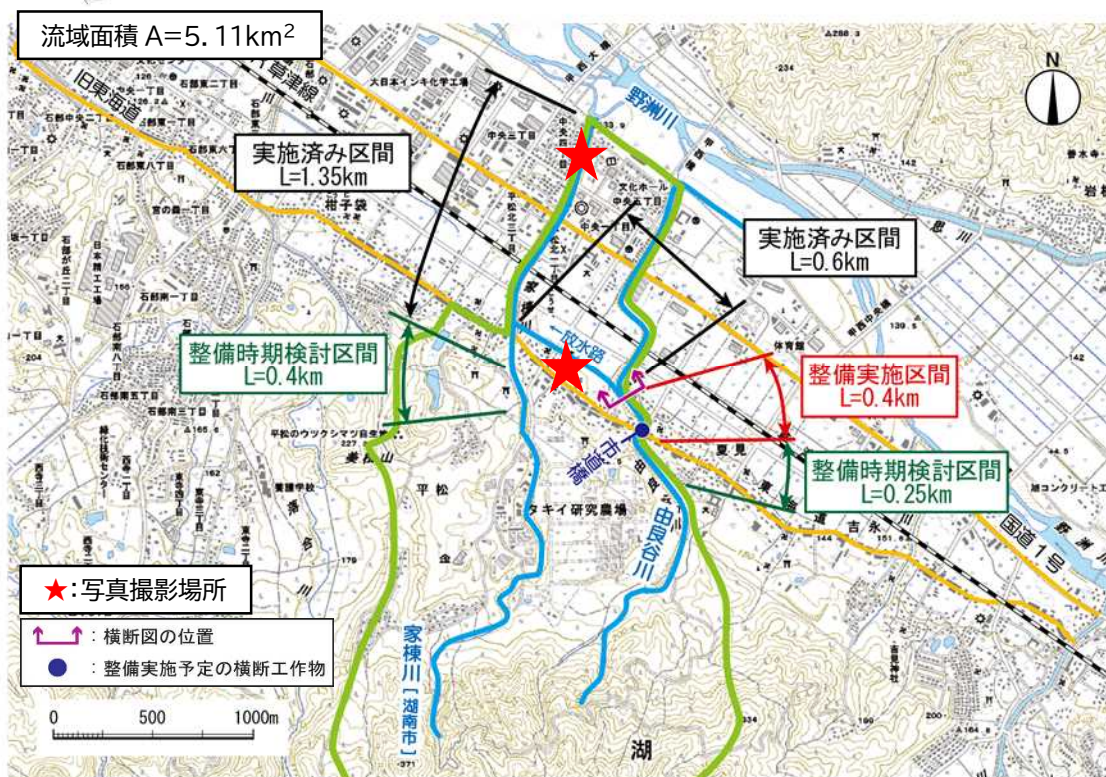
杣川横断面図

注：掘削・盛土の形状は状況により変更することがあります。

- 現況の河道特性を重視し、低水路形状を極力尊重しながらの河積拡大(引堤、高水敷掘削等)を図ると同時に橋梁の架け替え等を行います。
- 散策路、親水階段、緩傾斜護岸等による「街から水辺へのアクセスの向上」等の、地域住民が川と親しめるような整備に努めます。



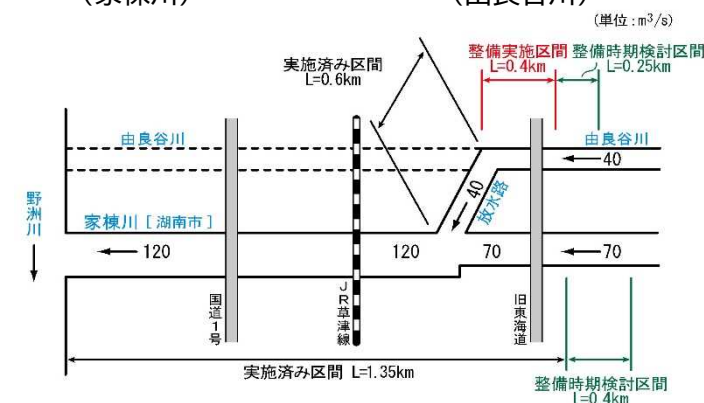
2.3 家棟川(湖南省市)、由良谷川



森北公園付近より上流を望む
(家棟川)



中之道橋より下流を望む
(由良谷川)



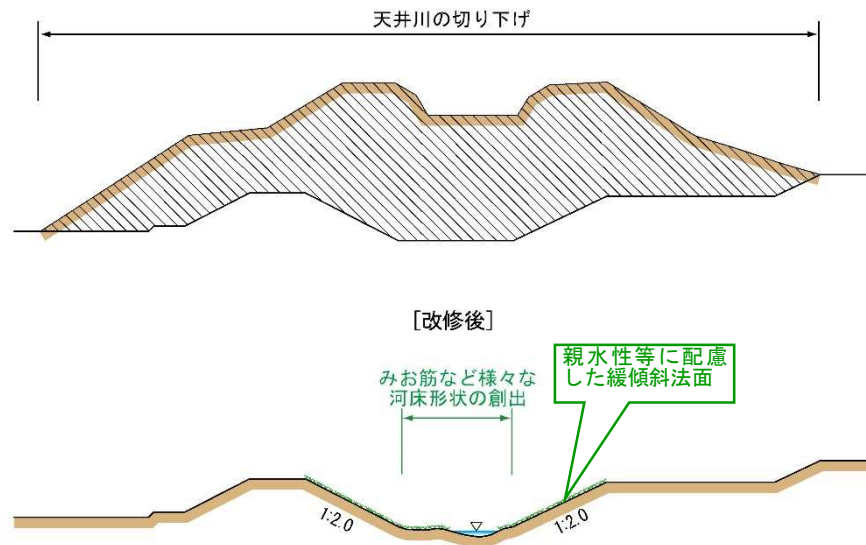
家棟川[湖南省市]、由良谷川の計画流量配分図

- 50年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 家棟川(湖南省市)の計画高水流量は、由良谷川合流点において $70\text{m}^3/\text{s}$ とし、支川の由良谷川については家棟川(湖南省市)合流点において $40\text{m}^3/\text{s}$ とします。



2.3 家棟川(湖南省市)、由良谷川

旧東海道交差部から下流約0.15km
[改修前]



家棟川〔湖南省市〕、由良谷川横断面図

- 県営経営体育成基盤整備事業(ほ場整備)との調整をはかり、放水路による天井川の解消を行いました。
- 河道の法面は自然植生による土羽仕上げを基本とし、良好な河川環境の創出を図りました。



2.4 落合川

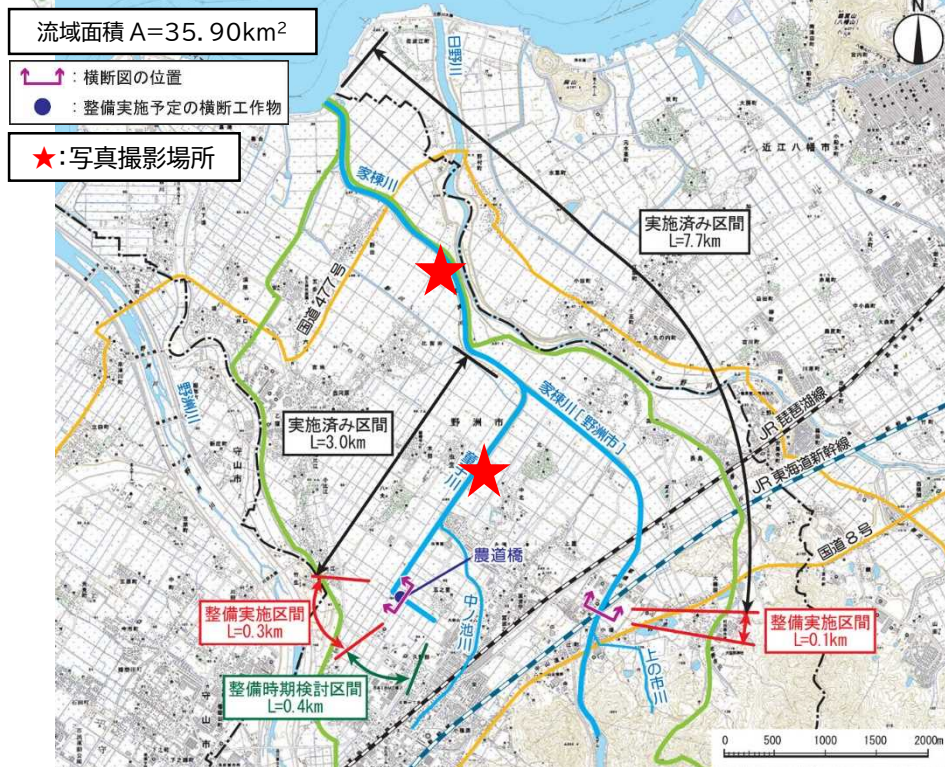


県道4号より下流を望む

- 一部天井川を形成しており、破堤氾濫が生じた場合の被害は甚大なものが予想されることから、10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下させるような整備実施に向けて、調査・検討を進めます。



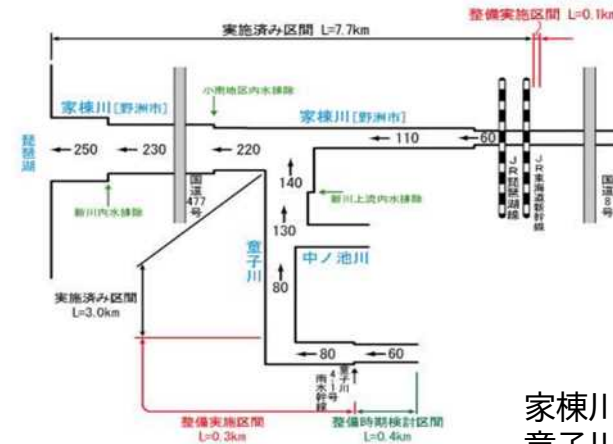
2.5 家棟川(野洲市)、童子川



童子川橋より下流を望む
(童子川)



無名橋より下流を望む
(童子川)

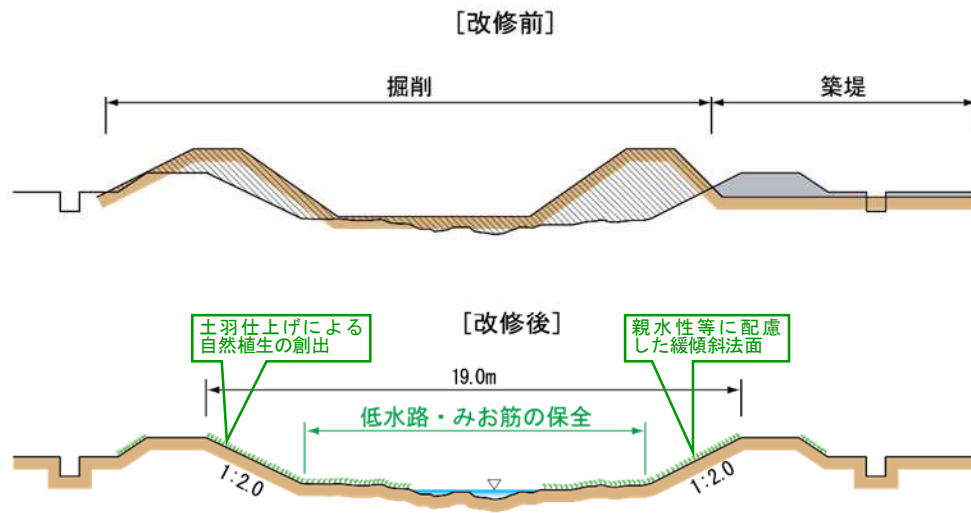


- 10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 計画高水流量は、JR琵琶湖線交差地点(河口から6.8km地点)において $60\text{m}^3/\text{s}$ とし、支川の童子川については一本橋(河口から6.7km地点)において $80\text{m}^3/\text{s}$ とします。 22



2.5 家棟川(野洲市)、童子川

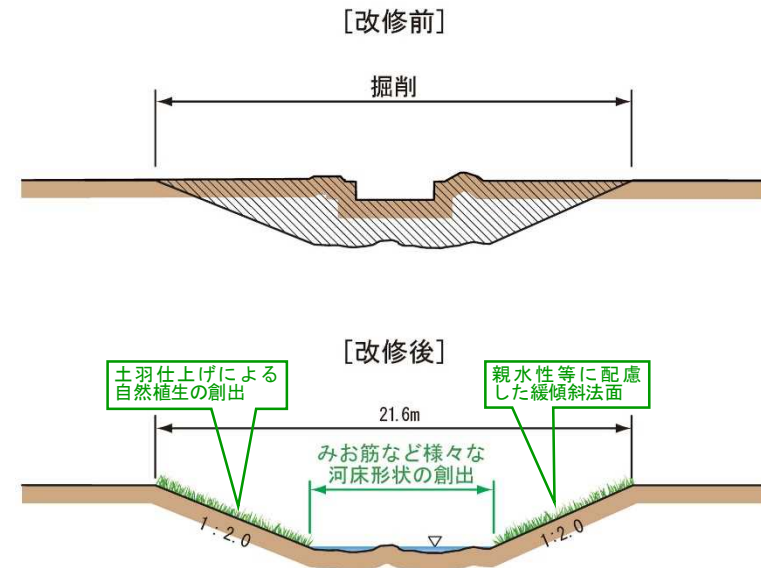
JR東海道新幹線上流(河口から7.8km)



注：掘削・盛土の形状は状況により変更することがあります。
法面の地質状況によっては必要に応じ、対策を行うことがあります。

家棟川[野洲市]横断図

中ノ池川合流点から上流約1.1km



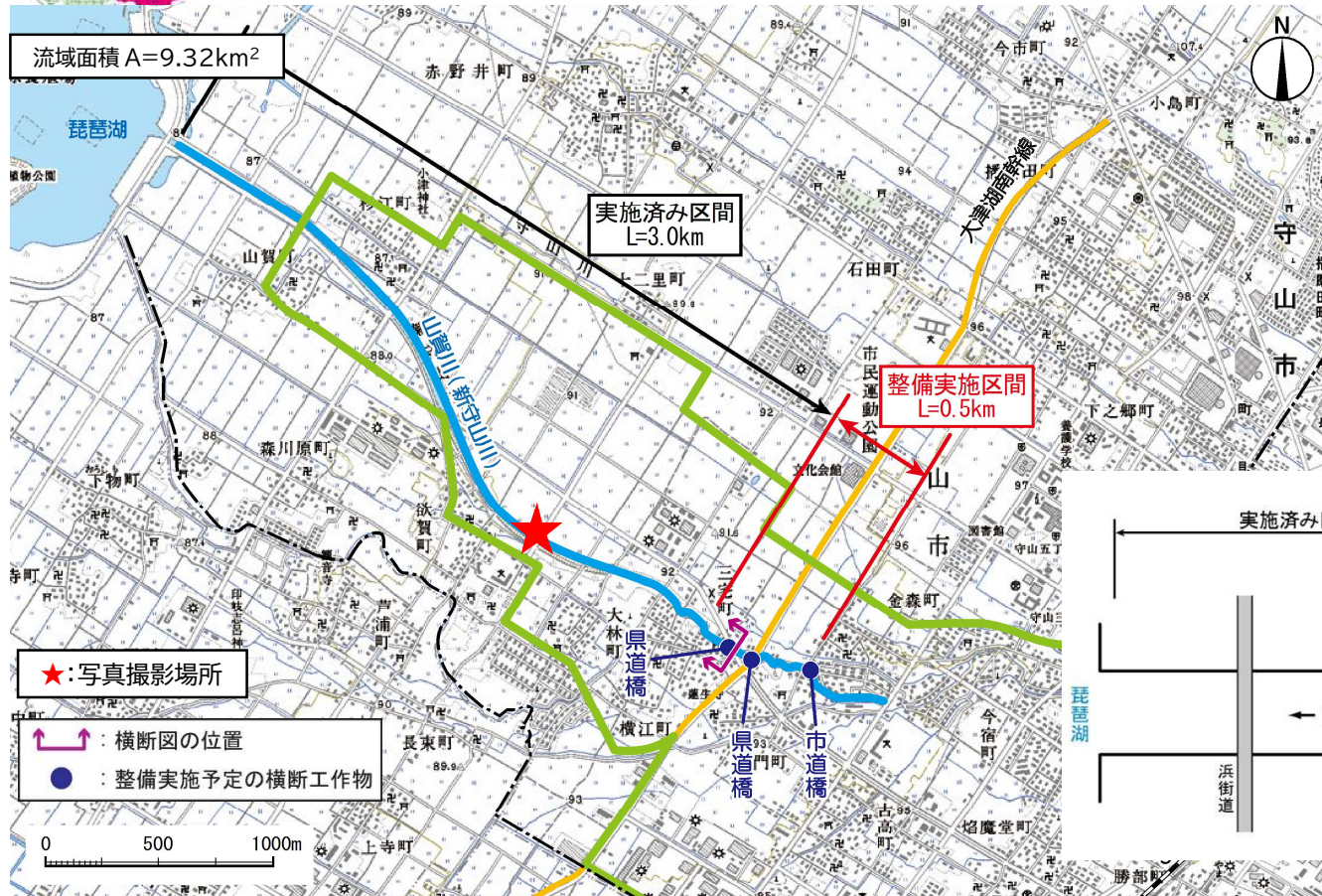
注：掘削・盛土の形状は状況により変更することがあります。
法面の地質状況によっては必要に応じ、対策を行うことがあります。

童子川横断図

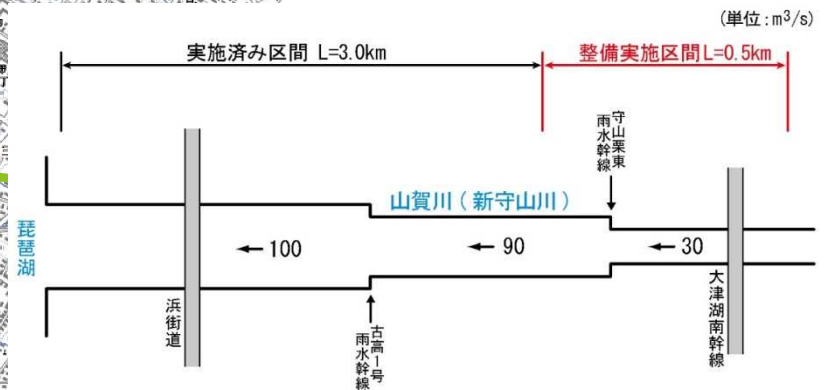
- 河積の拡大(河道掘削)や河川の平地化を行い、治水安全度の向上に努めます。
- 多自然川づくり等を通じて生物の生息・生育環境の保全に努めるほか、緩傾斜堤防や植生護岸を利用した人が水辺に近づきやすい川づくりに努めます。



2.6 山賀川(新守山川)



つがやまなかのしま大橋より下流を望む



山賀川(新守山川)の計画流量配分図

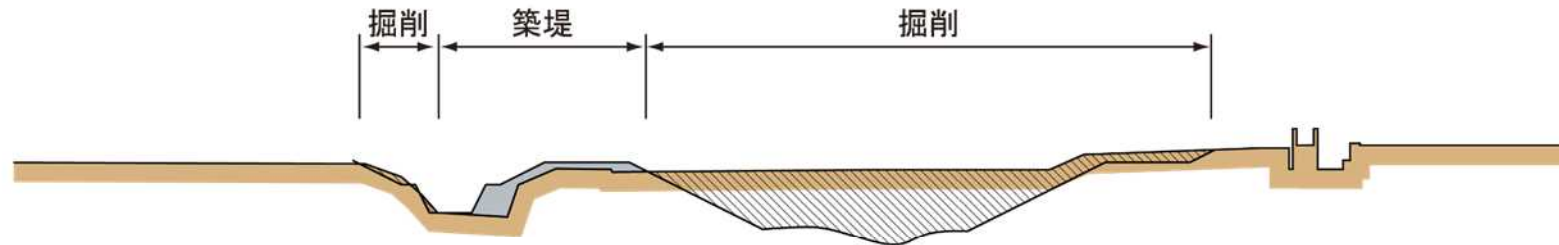
- 10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 計画高水流量は、古高1号雨水幹線合流点において $90\text{m}^3/\text{s}$ とします。



2.6 山賀川(新守山川)

県道欲賀守山甲線下流(河口から約3.1km)

[改修前]



[改修後]



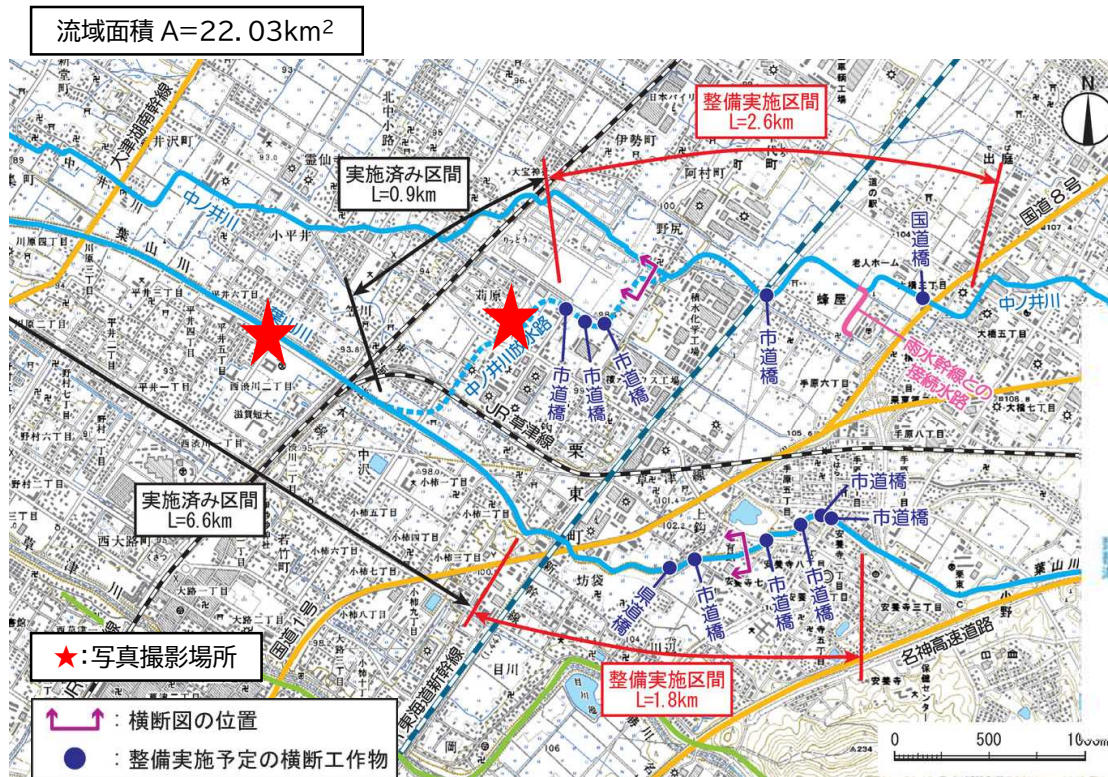
注：掘削・盛土の形状は状況により変更することがあります。
法面の地質状況によっては必要に応じ、対策を行うことがあります。

山賀川(新守山川)横断図

- 新しく河川を作り、治水安全度の向上を図ります。
- 生物の移動経路として上下流の連続性に配慮し、良好な河川環境の創出を図ります。 25



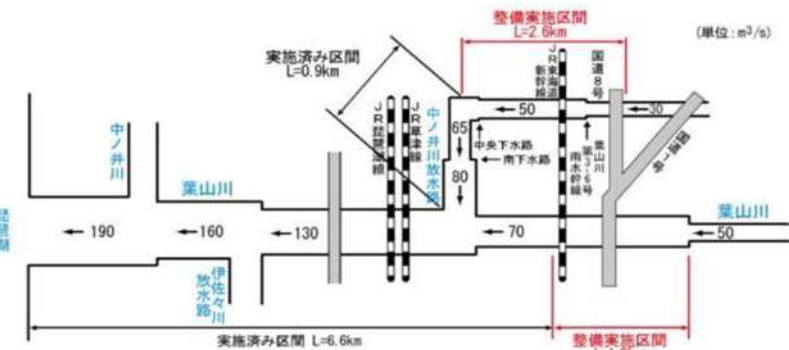
2.7 葉山川(支川中ノ井川を含む)



草津東高校付近より上流を望む
(葉山川)



下鉤橋より上流を望む
(中ノ井川)



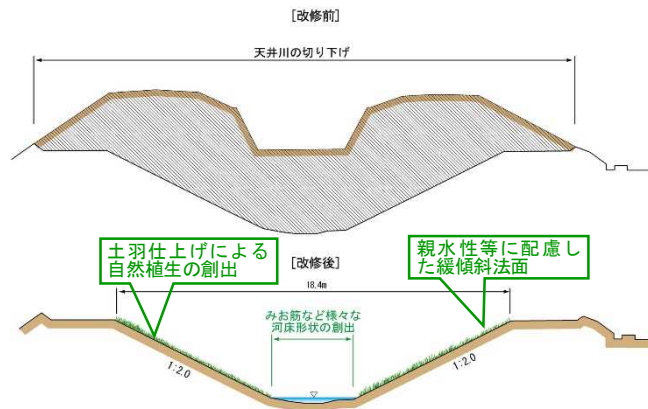
葉山川の計画流量配分図
葉山川の計画流量配分図

- 10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 計画高水流量は、中ノ井川放水路合流点において $70\text{m}^3/\text{s}$ とします。
- 支川中ノ井川放水路は、葉山川合流点において $80\text{m}^3/\text{s}$ とします。



2.7 葉山川(支川中ノ井川を含む)

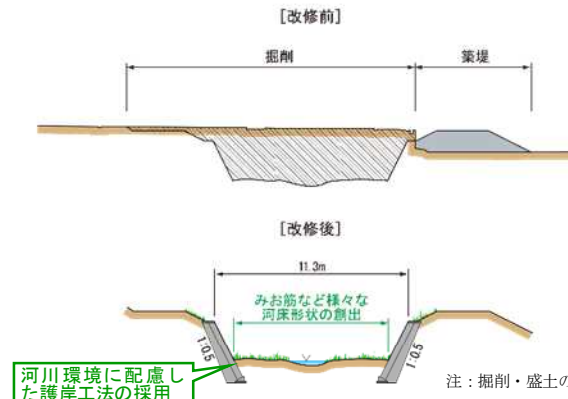
新上鉤橋上流(河口から約7.84km)



葉山川横断面図

注：掘削・盛土の形状は状況により変更することがあります。
法面の地質状況によっては必要に応じ、対策を行うことがあります。

JR東海道新幹線下流(葉山川合流点から約1.7km)



中ノ井川横断面図

注：掘削・盛土の形状は状況により変更することがあります。

- 葉山川は、自然環境に配慮した河積の拡大や河川の平地化、周辺環境を考慮した捷水路の設置を行います。
- 生物の移動経路として上下流の連続性に配慮し、良好な河川環境の創出を図り、地域特性に応じた生息・生育環境の向上に努めます。
- 中ノ井川は、河積の拡大(河道改修)と新しい河川を作ることによって、治水安全度の向上を図ります。
- 生物の生息・生育環境に配慮した河岸とすることや、敷地に余裕がある場所では淵やたまり等の水辺環境を創出する等、生物の生息・生育環境にも十分配慮した整備を図ります。



2.8 草津川



新岡部橋より下流を望む

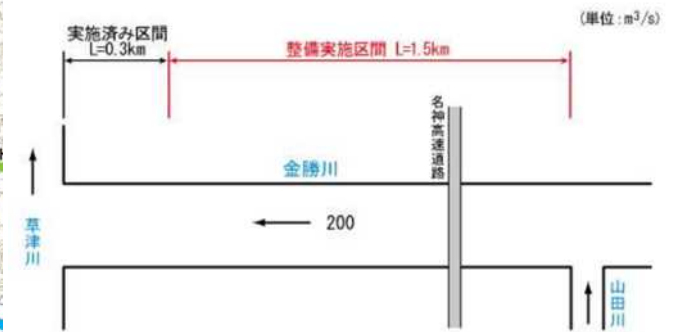
- 金勝川合流地点より上流は天井川となっており、破堤氾濫が生じた場合の被害は甚大なものが予想されることから、10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下させるような整備実施に向けて、調査・検討を進めます。



2.9 金勝川



高橋より上流を望む



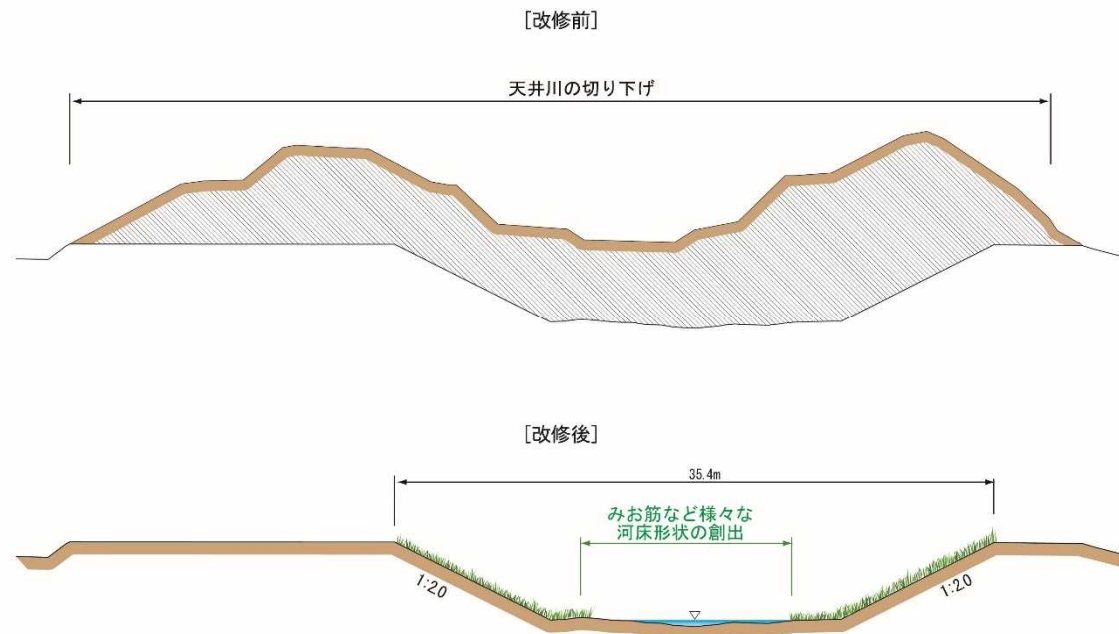
金勝川の計画流量配分図

- 10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 計画高水流量は、草津川合流点において $200\text{m}^3/\text{s}$ とします。



2.9 金勝川

高井橋上流(河口から約0.9km)



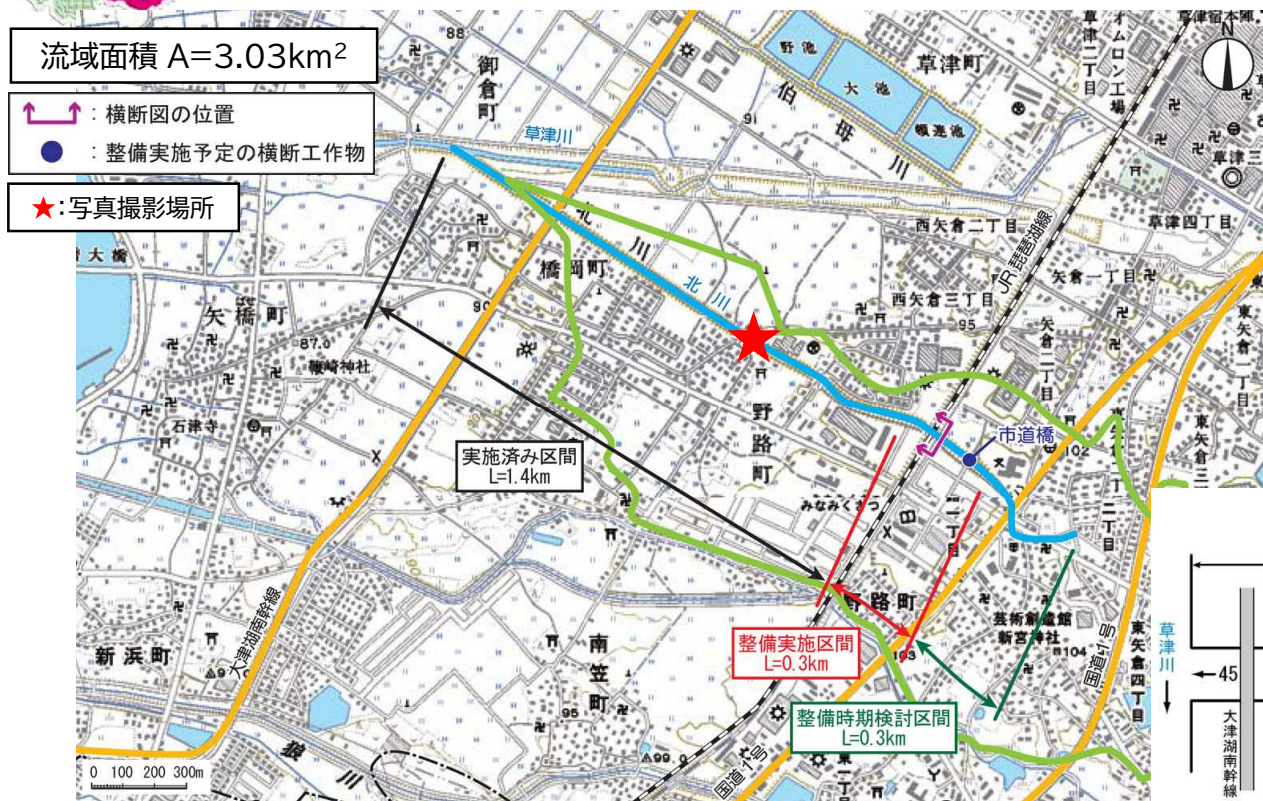
金勝川横断面図

注：掘削・盛土の形状は状況により変更することがあります。
法面の地質状況によっては必要に応じ、対策を行うことがあります。

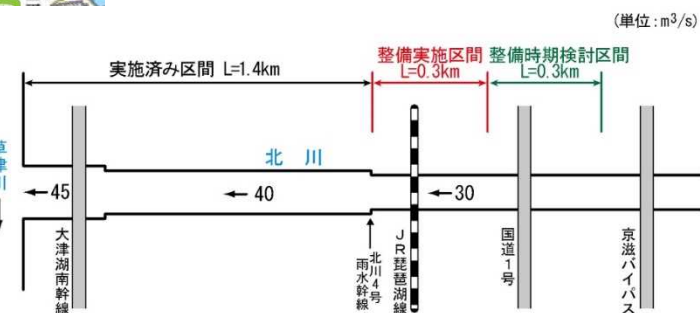
- 河床の切り下げにより、河積の拡大と河川の平地化を行い、治水安全度の向上を図ります。
- 親水性の向上や生物の生育・生息環境にも十分配慮し、断面形状は出来る限り緩勾配法面とした整備を行います。



2.10 北川



川ノ下橋より下流を望む



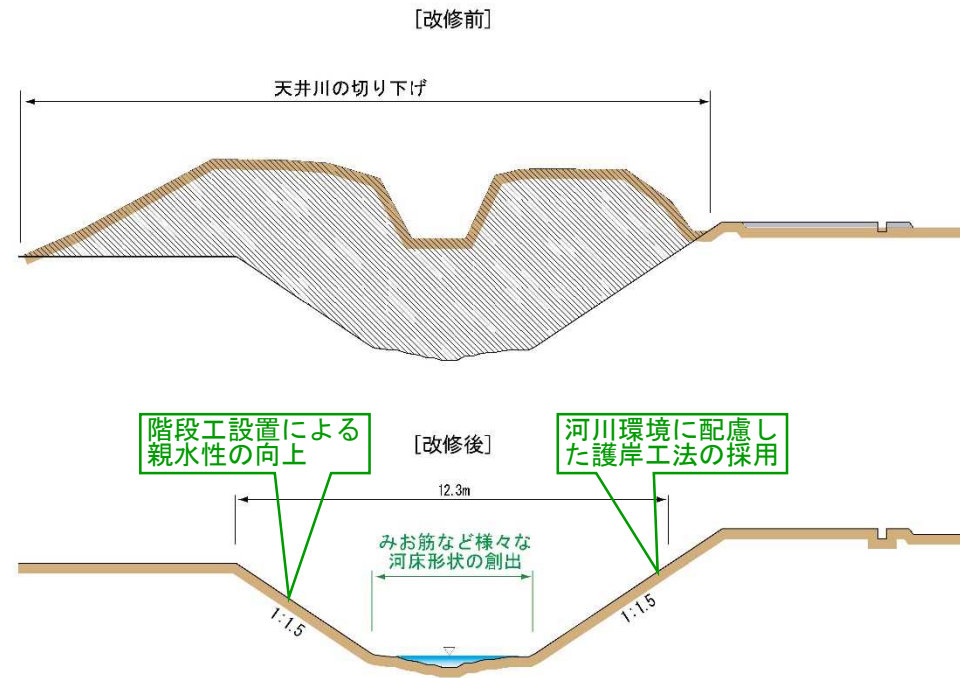
北川の計画流量配分図

- 10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるような改修を行います。
- 計画高水流量は、JR琵琶湖線交差地点において $30\text{m}^3/\text{s}$ とします。



2.10 北川

JR琵琶湖線上流付近(草津川合流点から約1.8km)



北川横断面図

注：掘削・盛土の形状は状況により変更することがあります。
法面の地質状況によっては必要に応じ、対策を行うことがあります。

- 河床の切り下げにより、河積の拡大と河川の平地化を行い、治水安全度の向上を図ります。
- 親水性の向上や生物の生育・生息環境にも十分配慮した整備を行います。



2.11 狼川



ひろの一号橋より上流を望む

- 天井川となっており、破堤氾濫が生じた場合の被害は甚大なものが予想されることから、10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下させるような整備実施に向けて、調査・検討を進めます。



2.12 琵琶湖(河川浄化・湖辺の保全)

(1) 赤野井湾

< 現行整備計画での位置付け >

- (目標)南湖の水質保全を図るため、各種水質保全施策と連携しながら、流域の流入負荷量を昭和40年頃までの値に削減し、アオコ等の抑制を目指す。
- (対策)湾内に流入する流入負荷削減対策、ヨシ等による植生浄化、出水初期の一時貯留による汚濁物の沈殿、出水後期の流出水の水速低下による内湖への沈殿。
- 「赤野井湾流域流出水対策推進計画」を定め対策を実施





2.12 琵琶湖(河川浄化・湖辺の保全)

(1) 赤野井湾

< 整備計画策定後の取組み >

➤ 「赤野井湾流域流出水対策推進計画」

(経緯) 第5期湖沼計画(平成18~22年度)に初めて位置付けして以降、継続的に取組みを実施

(目標) 赤野井湾のあるべき姿: 赤野井湾流域ではホタルが舞い、湾内ではシジミが棲めるような水・湖底環境に維持・改善され、流域に暮らすすべての人々が誇りをもてる地域になっている。

(具体的方策) 流出水の水質を改善するため以下の取組み等を実施している。

農業排水対策



環境こだわり農業

農薬や化学肥料を減らす等のやさしい農業に取り組んでいる。

市街地排水対策



透水性舗装の整備

通常舗装 ← → 透水性舗装

河川等の浄化対策



河川浄化施設



2.12 琵琶湖(河川浄化・湖辺の保全)

(2)木浜内湖

<現行整備計画での位置付け>

- (目標)木浜内湖の水質改善目標として流入負荷量を昭和40年代前半レベルまでの値に削減し、アオコ等の抑制を目指す。
- (対策)底泥の浚渫(平成20年まで実施)、底泥からの栄養塩の流出の抑制、ヨシ等の植生の植栽
- 「木浜地区保全整備地域協議会」等を通じて地域と協働して水環境の改善を進める。





2.12 琵琶湖(河川浄化・湖辺の保全)

(2)木浜内湖

<整備計画策定後の取組み>

➤ 木浜内湖河川浄化事業

(背景)生活排水や農地からの負荷流入等による内湖の富栄養化が原因で水質悪化が進行している。

(目的)内湖の水質と自然環境の保全すること。

(具体的方策)以下の取組み等を実施している。

内湖の湖底泥の浚渫



覆土への湿性植物の植栽





2.12 琵琶湖(河川浄化・湖辺の保全)

(3) 平湖・柳平湖

< 現行整備計画での位置付け >


- (目標)湖内の水質浄化、生物生息環境や景観の改善が求められている。
- (対策)底泥の浚渫(平成18年度まで実施)、覆土による底泥からの栄養塩の流出の抑制、導水による湖水の滞留時間の短縮

< 整備計画策定後の取組み >

- 湖の水質浄化と生物生息環境や景観の改善(具体的方策)

内湖の水質と自然環境の保全ため以下の取組み等を実施している。



 : 整備実施区域

内湖の湖底泥の浚渫

覆土への湿性植物の植栽

導水による湖水の滞留時間の短縮




2.12 琵琶湖(河川浄化・湖辺の保全)

(4) 草津地区

< 現行整備計画での位置付け >

- (目標) ヨシ原を再生し、琵琶湖の原風景を取り戻すとともに、魚類や鳥類等の多様な生物の生息・生育空間として生態系、水質の保全を図る。
- (対策) 直立の矢板護岸となり、景観や生物の生育・育成空間に好ましくないため、人工湖岸部の緩傾斜化によるヨシ原の創出



 : 整備実施区域



2.12 琵琶湖(河川浄化・湖辺の保全)

(4) 草津地区

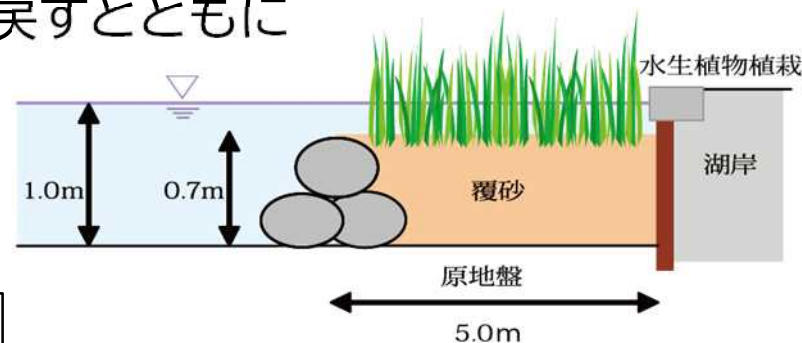
< 整備計画策定後の取組み >

- ヨシ原の再生し、琵琶湖の原風景を取り戻すとともに生態系、水質の保全。

(具体的方策)

以下の取組み等を予定している。

人工湖岸部の緩傾斜化によるヨシ原の創出(参考)



事業実施前(守山地区:H11.8)



事業実施後(守山地区:H20.8)



2.12 琵琶湖(河川浄化・湖辺の保全)

(5) マイアミ浜地区

< 現行整備計画での位置付け >

- (目標) 自然性の高い湖辺や昔の姿に近づけることにより多様な生物の生息・生育への配慮や琵琶湖の原風景の再生・保全を目指す。
- (対策) 突堤や養浜による砂浜の浸食対策、突堤に柳の植栽



 : 整備実施区域



2.12 琵琶湖(河川浄化・湖辺の保全)

(5) マイアミ浜地区

< 整備計画策定後の取組み >

➤ マイアミ浜地区湖岸浸食対策

(背景)

野洲川北流の締め切りで土砂の供給が無くなり湖岸侵食が急速に進んでいるため、砂浜の維持や良好な湖辺の環境保全を進める必要がある。

(目的)

自然性の高い湖辺や昔の姿に近づけることで多様な生物の生息・生育、琵琶湖の原風景の再生・保全を目的とする。

(具体的方策)

砂浜の保全ため以下の取組み等を実施している。

突堤や養浜による砂浜の侵食対策

突堤に柳の植栽を行う



施工前



施工後



2.13 維持管理に関する取り組み

【河川管理施設の維持管理】

- 洪水時における災害の発生を防ぐために、堤防・ダム・護岸・樋門等の河川管理施設の点検により、施設の老朽化・不具合等を早期に発見して機能の低下防止に努めます。
- 地域住民組織等とも連携し、適切な維持管理を行えるように努めます。





2.13 維持管理に関する取り組み(浚渫)

【河床の維持管理】

- 管理河川のうち河道内に堆積した土砂や繁茂した樹木により著しく阻害されている河川について、河川の疎通能力を回復させるため、令和2年度から令和6年度の5年間で緊急に浚渫等を進めます。





2.13 維持管理に関する取り組み(堤防強化)

甲賀・湖南圏域のTランク河川

河川名
大砂川〔吉永〕
落合川
高田砂川
家棟川〔湖南市〕
由良谷川
狼川
北川
草津川
光善寺川
金勝川
十禅寺川
菖蒲谷川
童子川
中ノ池川
葉山川
美濃郷川
家棟川〔野洲市〕
山田川

光善寺川の堤防補強工(ドレーン工)

